

# 週間感染症情報

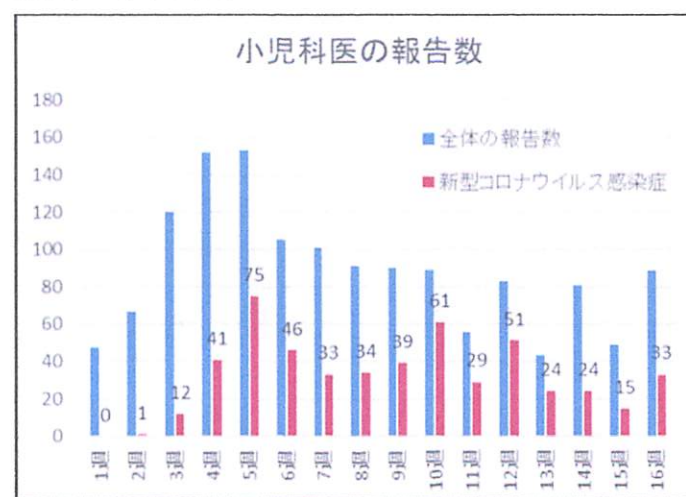
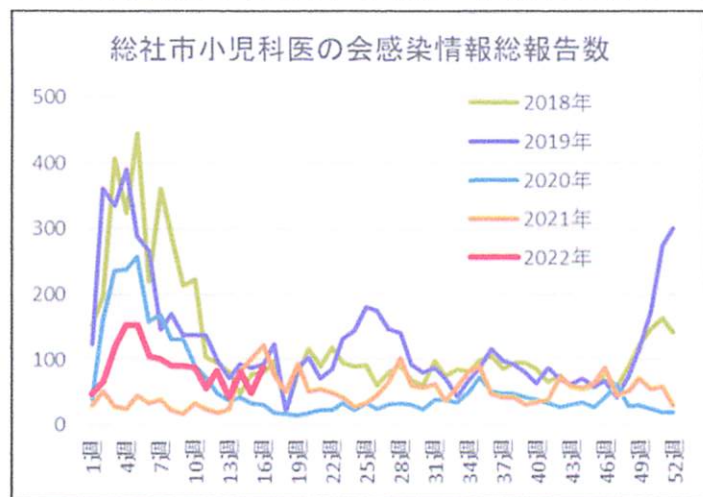
2022年14~16週 2022年4月4日より2022年4月24日まで

14 15 16週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	1		
インフルエンザA			
百日咳			
溶連菌感染症		1	
手足口病			
ヘルパンギーナ			
伝染性紅斑		1	
感染性胃腸炎	50	29	52
ロタウイルス(再掲)			
便中ウイルス(再掲)			
突発性発疹	2		2
伝染性膿痂疹(とびひ)			1
ヘルペス性口内炎	2	1	
アデノウイルス感染症	2	2	1
RSウイルス感染症			
マイコプラズマ感染症			
ヒトメタニューモウイルス			
新型コロナウイルス感染症	24	15	33
インフルエンザA			
インフルエンザB			

報告が遅くなりました。14~16週の3週間の報告です。

感染性胃腸炎が増加して報告数が増えました。しかし、左下の総報告数のグラフからわかるように、インフルエンザの流行がなくなり、2021・2022年は冬の大きな山が消えました。2021年より2022年の報告数が多いのは感染性胃腸炎の流行があったためです。多くはウイルス性胃腸炎で、ロタウイルス・ノロウイルス・アデノウイルス・アストロウイルス・サポウイルス等があります。ロタウイルスはワクチンが定期接種となり最近では報告がありません。ノロウイルスは、嘔吐を主として感染力が強く、1~2日の内に家族内感染を起こします。市内保育園での流行もありました。症状が治まっても、便には数週間ウイルスが排泄されます。症状が治まれば普通に登園は可能です。アルコール消毒が効果ありませんので、吐物・汚物の処理、手洗いが大切です。飛沫感染することもあり、吐物を処理するときは換気も大切です。ノロウイルス抗原陽性報告が2例ありました。検査は、保険適応が限られており、特別な治療が無いのに数日の経過でよくなります。医療機関では、流行状況を知るために持ち出して検査をしています。検査を希望される場合は診察料を含めてすべて自費になります。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> )